

さざなみ



滋賀医科大学附属図書館報

No.34

目 次

1993年 7 月

書物との対話	学長 岡田 慶夫.....	2
CD-ROM館内LANシステムを稼動	図書課運用係.....	4
CD-ROM館内LANシステムの研究 室からの利用.....	医学情報センター 眼科学講座助手 永田 啓.....	6
CD-ROM館内LANシステムのダウ ンロード利用について.....	内科学第三講座助手 前川 聡.....	7
図書館の活動（統計・会議）		8
本学関係者寄贈図書.....		10

本号（No.34）よりデザインを新たにしました。

題字は佐野晴洋前学長、画は青山喬教授（放射線基礎医学講座）の両先生の手によるものです。

書物との対話

滋賀医科大学

学長 岡田 慶夫

病院長室から学長室へ引っ越すことになり、年度末も迫ってきたので、持物をまとめ始めたが、何が大変かといって書物や書類の整理ほど厄介なことではない。保存すべきか、捨てるべきかに迷い、何処へ移すかに迷い、わずか数段の本箱の整理に何日かを費やしてしまった。あげくのはてに、行方を決めかねた大量の書物や書類を、当分の間事務室のロッカーに居候させて頂くことになった。

本棚の整理をしていると、最近はほとんど手にしなくなったが、かつては毎日のように頁を綴っていた書物にひょっこりとお目にかかることになる。そんな時には、久しぶりで旧友に会ったような気持ちになって、仕事を忘れて書き込みのある頁などをばらばらとめくってみる。

表紙の見返しに著者自筆の贈呈の辞などが書かれているものをみつけると、頂いた当時を思い出し、しばし手を休めて思い出に浸ることになる。とくに高名な先生から若い頃に頂いた著書をみると、がむしゃらに勉強していた当時の気持ちがよみがえってくる。そんな本の中には、1958年9月4日の日付の入った、カリフォルニア大学の S. M. Faver 教授の“Lung Cancer”や、私のリンパ研究に触れた贈呈の辞とともに、1959年 Dec の日付が書かれたミネソタ大学の E. A. Boyden 名誉教授の有名な著書“Segmental Anatomy of the Lungs”などがある。

私が京都大学胸部疾患研究所（当時は結核研究所といった）の胸部外科の長石忠三先生のもとに入局した1953年（昭和28年）頃は、本と名のつくものがきわめて乏しい時代であった。とくに外国の書物は高価で、海外への送金が困難であったから、私達若い医師にとっては高嶺の花であった。したがって、定評のある書物は海賊版が出廻ることもあった。これらは私達でも手が届くほどの値段であったから、風呂敷包みに何冊かの海賊版を抱えて研究室に廻ってくる人があると、若い医師達は喜んで買ったものである。

入局当時、私達の教室では形態学グループが共同して肺の外科解剖学を系統づける計画がたてられ、それぞれが気道系、血管系、リンパ系、神経系を分担して研究を進めることが申し合わされた。

当時、肺の形態学に関する著書としては、H. V. Hayek の“Die menschliche Lunge”（1953）や A. Policard の“Le Poumon”（1955）などがすでに発行されていたが、何といても W. S. Miller の“The Lung”（1950）が世界的に最も有名であった。ただし、海外の論文などでそれらの存在を知っていても、その実物に接することはできなかった。ところがある日、研究室の先輩の一人が借り物だがといって“The Lung”の1冊を持って来た。この時は、長い間思いこがれていた俳優か有名人に、予期しない所で突然に出会ったような感激で、頁を開くのももどかしい思いであった。

2日間だけ借してほしいと無理に頼んで家に持ち帰り、200頁余りの書物の中で自分の研究に直接関係のある部分100頁余りを写しとった。

当時はコピー機など全く存在しない時代であるから、本文を手書きで、図は薄紙を当てて鉛筆で写しとった。この手書きのコピーは今でも本棚にあって、その後やっと手に入れた原本と隣合わせに並んでいる。

コピー機が普及するにつれて、書物に対する愛着や思い入れが少しずつ失われてきたように思う。さらに最近では、文献検索システムが普及したので、書物そのものに触れなくても、原本を読んだりコピーを入手したりできるようになった。この急テンポな情報化社会では、伝統的な雑誌の風格のある表紙に見入ったり、気に入った著書の表紙の手触りを楽しんだりする余裕はほとんどなくなった。ましてや論文や著書を手書きで写しとるなど狂気の沙汰であろう。

一方出版物にしても、雑誌はいかに多くの論文を迅速に載せるかに腐心し、著書といっても Mook と称する雑誌の特集号まがいのものであったり、あるいは何十人という多数の著者がこま切りに分担した個性の乏しいものが増えてしまった。このような現象は、学問が細分化し、しかも速報性が重んじられる現在では当然のなり行きであるが、書物に何となく味がなくなったように思われる。こんな中で、著者の個性や人間性がにじみ出ている書物に出くわすと、著者と対話しているような気持ちになって、学問の楽しさを覚えるとともに心の昂ぶりをを感じるものである。

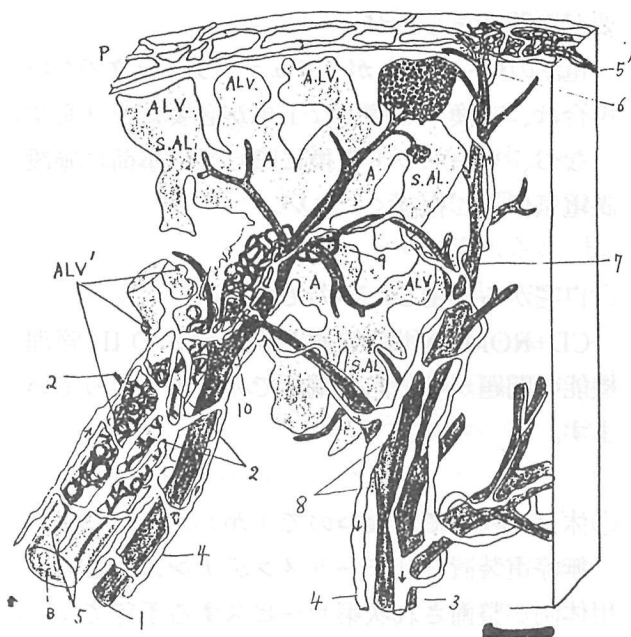


Fig. 61. General scheme of a primary lobule in which the subdivisions of the bronchial tree, the pulmonary artery, the pulmonary vein, the lymphatics, and the lymphoid tissue are shown. In the chapters devoted to the detailed description of each of these, this diagram is used in a more or less simplified form. The same is true for the diagram used in the description of "Key Points."

Fig. 61. General scheme of a primary lobule in which the subdivisions of the bronchial tree, the pulmonary artery, the pulmonary vein, the lymphatics, and the lymphoid tissue are shown. In the chapters devoted to the detailed description of each of these, this diagram is used in a more or less simplified form. The same is true for the diagram used in the description of "Key Points."

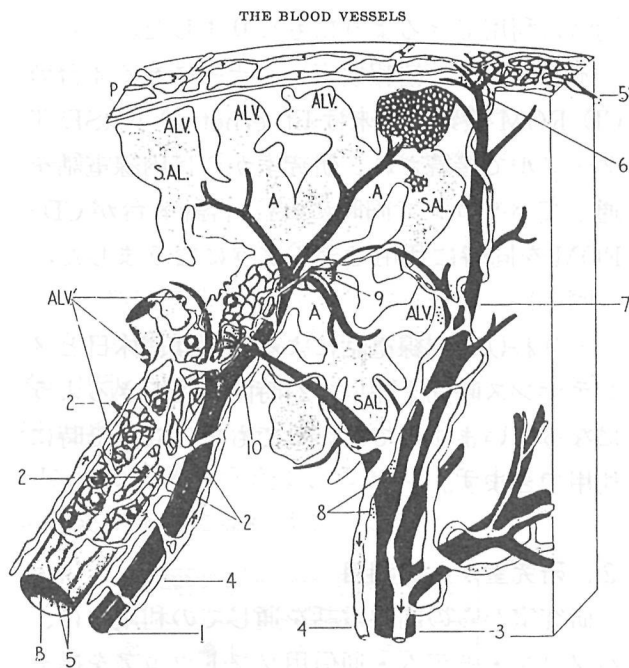


Fig. 61. General scheme of a primary lobule in which the subdivisions of the bronchial tree, the pulmonary artery, the pulmonary vein, the lymphatics, and the lymphoid tissue are shown. In the chapters devoted to the detailed description of each of these, this diagram is used in a more or less simplified form. The same is true for the diagram used in the description of "Key Points."

Fig. 61. General scheme of a primary lobule in which the subdivisions of the bronchial tree, the pulmonary artery, the pulmonary vein, the lymphatics, and the lymphoid tissue are shown. In the chapters devoted to the detailed description of each of these, this diagram is used in a more or less simplified form. The same is true for the diagram used in the description of "Key Points."

CD-ROM館内LANシステム を稼動

図書課運用係

1. CD-ROM館内LANシステムの導入

本年2月24日、附属図書館CD-ROM館内LANシステムが稼働しました。システムは、米国 SilverPlatter 社の MultiPlatter™ システムによるものです。

これまでの CD-ROM MEDLINE の検索システムでは、一度に検索できる年代が制限されていましたが、今回のシステム導入により、事務室内の CD-ROM サーバの中に一度に14枚まで格納できるので、1966年から最新文献まで一度に検索できるようになりました。

さらに、一人が利用していると終わるのを待たなければなりませんでしたが、File サーバにインストールされたネットワーク・オペレーティング・システム（Novell 社の Netware™ v.3.11 J）により複数の端末から CD-ROM を同時に利用できるようになりました。

附属図書館の情報検索コーナーにある4台の CD-ROM 検索性端末は Ethernet 10 BASE-T ケーブルで接続され、研究室からは内線電話を通じてパソコンで同時に4台、合計8台が CD-ROM を同時に利用できるようになりました。

（図1）

とりわけ、内線電話による利用は、休日とメンテナンス時間を除いて24時間利用できるようになっていますので、いつでも思い立った時に利用できます。

2. 研究室からの利用

研究室からの内線電話を通じての利用には、パソコン・モデム・通信用ソフトウェアを揃えていただく必要があります。（図2）

これまでに寄せられた質問をもとにご留意いただく点を次に紹介いたします。

○現在使用しているパソコンは使えますか

対応する通信ソフトウェアがあれば、NEC PC-9801 シリーズ・Macintosh・IBM/AX（互

換機を含む）・DOS/V 機何れでも利用していただけます。

（通信ソフトウェアが対応していない例：

HTERM と PC9801LT）

○通信ソフトウェアは何がいいのですか

今のところ VT100 エミュレーション機能を持ち、検索結果をダウンロードしたファイルを受信するために X-Modem をサポートしている必要があります。

これらの機能を有した動作確認済みの通信ソフトウェアを（表1）に掲載しました。

○モデムは何がいいのでしょうか

速度によって、処理能力が大きく違ってきます。新規に購入される場合は、先行ユーザの経験なども参考になるかと思われます。

図書館で実測した数値を（表2）に掲載しましたので、目安の一つにしてください。

○モデムを電話線に接続するためには工事が必要だと聞きましたか

電話のローゼットがモジュージャックでない場合は、交換する簡単な工事が必要になります。

なお、ローゼット交換に際しては事前に施設課電気係にご相談ください。

○自宅から利用したいのですが

CD-ROM の利用契約とシステムの ID 管理機能の問題から、内線電話での運用となっています。

○休日は利用できないのですか

無停電装置やリモートメンテナンスなどの運用体制が整備され次第サービスする予定です。

○詳しい接続手順を知りたいのですが

すでに配付しました利用マニュアルに記載していますが、別途必要な場合はカウンターに申し出てください。

MultiPlatter™ は、SilverPlatter Information, Inc. の登録商標です。

NetWare v.3.11™ は Novell, Inc. の登録商標です。

滋賀医科大学附属図書館CD-ROM館内LANシステム概念図

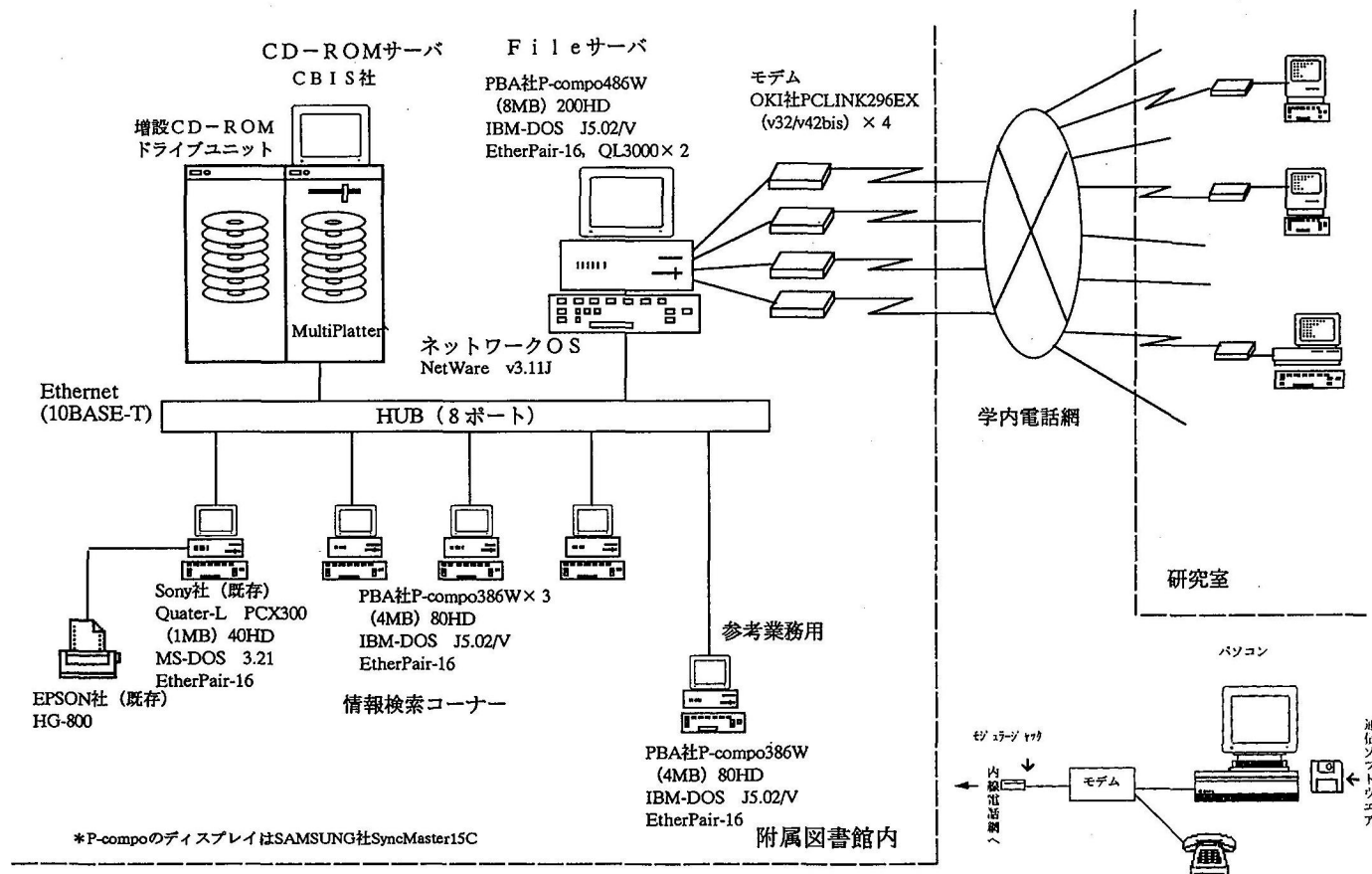


図 1

図 2

ソフトウェア名称 (Ver.)	対応パソコン	入手方法、その他
EG Talk (1.3)	Mac	市販 (約 4 万円) 現在は Ver.2.0
HTERM (2.6.0.0)	98, IBM, J-3100	Free Ware 98LT は不可
Ninja Term (0.962b)	Mac	Free Ware
PCOM-α	98	市販 (約10万円) 98H は不可
TT (1.00)	98	Free Ware

1993.6.14現在

Mac=Macintosh, 98=NEC PC9801, IBM=IBM/AX (互換機を含む), J-3100=東芝J-3100

表 1 (動作確認ソフトウェア)

速度 (bps)	検 索 レスポンス	画面展開 所要時間	レコード23件転 送所要最間	平均転送速度 (Byte/分)
1200	1 秒以内	15-20秒	8 分	6,200
2400	1 秒以内	7-10秒	4 分	11,600
9600	1 秒以内	2-5 秒	1 分30秒	33,800

使用機器等
Machintosh Classic-II (4MB)
Ninja Term (0.962b)
検索対象ファイル
MEDLINE 93/1~5

キーワード (STOMACH AND SMOKING) 検索を行ない (検索結果23文献)、それぞれの速度で実計測した。

表 2 (モデム処理速度)

CD-ROM館内LANシステムの 研究室からの利用について

医学情報センター・眼科学講座
助手 永田 啓

以前から、図書館の入り口にコンピュータが何台かならび、MEDLINEなどの文献検索ができるようになっていました。利用者がだんだん増加して、最近ではコンピュータを使う順番待ちをするぐらいになってきました。この文献検索は便利なのですが、図書館が開いている時しか利用できませんでした。使う側から言うと、夜中や休みの日に、論文を書いたり勉強しているときに、突然思いついてMEDLINEを使いたい、と思うことがあります。

最近になって、こうした利用者の要望に答えるために、講座のパソコンから電話を使ってMEDLINEが使えるようになりました。私はMacを使って、接続しています。MEDLINEを使うには、VT100という設定のできる通信ソフトが必要ですが、Macでは幸いNinja Termという、パブリックドメインの優秀なソフト(作者が無料で利用して良いという許可を与えているソフト)があります。Ninja Termを動かして、図書館にモデムで電話をかけると、しばらくしてつながります。Macの上の画面は、図書館で使っている状態と同じになりますので、あとは、図書館で使うように使えます。ただ、電話回線を使ってつないでいるので、文献をプリントアウトしたり、ディスクットにおとしたりするところは、図書館と使い方が違います。検索結果のファイルをいったん、図書館にあるコンピュータの中に作ってから、それを自分のコンピュータに持ってくる必要があります。この部分が、ちょっとわかりにくいので、何回かチャレンジしました。どうも、画面が図書館のコンピュータと同じなので、混乱するのですが、頭を切り替えて、NIFTYをはじめとするパソコン通信と同じに考えればいいことに気がつきました。検索をしたファイルを自分のMacにダウンロードしてきます。これにはXModemというプロトコールを使います。Ninja TermにはXModemでダウンロードする機能もそな

わっていますから、簡単です。こうして、電話で図書館のMEDLINEの検索ができるようになって、随分便利になりました。

ただ、ちょっと気にいらない点は、スピードがそんなに早くなくていらいることがあることと、内線の電話番号からしか、使えないことです。講座では、京都大学をはじめとする学術情報ネットやパソコン通信、を使うために、モデムは外線電話に接続してあることが多いのです。このため、いちいち図書館のMEDLINEに接続するのに電話線をつなぎかえなければならない訳です。スピードは、滋賀医大の中に、京大のようなLANの設備がないので、しかたがないようです。利用者が増えて、もっとスピードが必要になれば、「LANがほしい」ということになるでしょう。

とにかく、接続は簡単ですから、一度ためしみることをおすすめします。それと、図書館の皆さん。できれば、休みの日にも使えるようにしてくださいね。



CD-ROM館内LANシステムの ダウンロード利用について

内科学第三講座
助手 前川 聡

もう10数年前にもなりますが、私達が病棟で医師としての研修を始めた頃、受け持った患者の病気についての症例報告や総説を捜し出すことはたいへんな仕事でした。著名な欧米の内科学雑誌をかたっぱしから読み漁り、運良くいい総説 (review article) が見つければしめたもの、そこから孫引きして文献を捜した出したものでした。

それから数年して、図書館や業者に MEDLINE の検索が依頼できるようになりました。しかし、折角、検索を依頼しても、key word が適切でなかったために、目的のものが見つからないという経験をよくしたものでした。

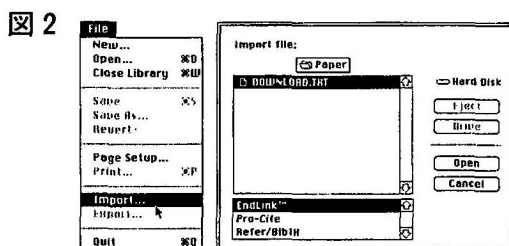
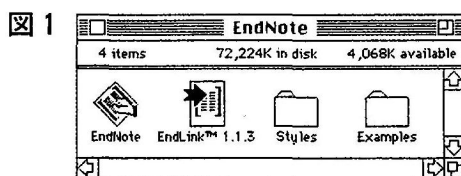
ところが、数年前から図書館で、SilverPlatter MEDLINE を利用して、自分自身で key words を入力しながら、MEDLINE で文献の検索ができるようになり、私達の文献検索は、格段の進歩を遂げました。しかし、一人当りの検索時間が30分以内と制限されているため、如何にして効率良く短時間内に文献を検索するかが、次の問題となりました。その頃、第三内科の医局にも、NEC のパソコン98が導入され、私達も一太郎などのワープロを使えるようになっていましたから、検索データを download して利用しようと考え、5 インチの 2HD のフロッピーを普通にフォーマットして、それに、IBM 互換機 (compatible) の SONY のパソコン上の SilverPlatter から、大まかな key word でできるだけ沢山の文献をテキストファイル (text file; TXT, document file; DOC) として download し、それを、高速の editor (VZ editor など) で加工 (整形) 後、一太郎に読み込んで、98の画面上でゆっくり文献を読んで必要なものだけプリントアウトしたり、保存するようにしていました。

昨年、第三内科の医局にも、遅ればせながら APPLE Computer の Macintosh が導入され、私達の文献検索は飛躍的に進歩し、益々便利に

なりました。というのは、Macintosh のソフト群の中に、EndNote という文献専用のデータベース (database) ソフトがあり、EndLink というソフトで、そのデータベースソフトに MEDLINE の検索結果を移植することができるようになったからです (図1)。

そのやり方は、まず、3.5インチの2DDのフロッピー (2HD のフロッピーはだめ) を IBM PC (互換機) のコンピューター或は、NEC の98で、9セクターでフォーマットします (IBM format)。もし、98にエコロジーIIがインストールされているならば、Utility の内にある F の FORMAT DISK の3 (720Kバイト9セクタ/トラック) でフォーマットします。これはそのフロッピーを Mac の Super Drive で読み書きできるようにするためです。フロッピーが準備できましたら、図書館で、そのフロッピーに MEDLINE から検索成績を download し、APPLE の file exchanger 或は DOS mounter 等で Mac で読めるようにしてから、EndNote の中にインストールされた EndLink の import command で EndNote の新しいファイル内に移植します (図2)。

2DD の disk 一枚に約300から400個の文献 (要約も含めて) が download できます。このように Endnote に移植された文献の database は、author, year 等で更に検索可能で、論文作成にも利用可能です。その詳細は、多くの Mac ソフトの解説書に書かれていますが、ここでは、金原出版の実用マッキントッシュ医学生物学研究者のために一を参考にしました。MEDLINE の検索のうえで、このような download の方法が参考になれば幸いです。



平成4年度 附属図書館の活動

利用者向オリエンテーション

新入生ガイダンス

平成4年4月14日

出席学生数：96名（96％）

医学文献の調べ方に関するガイダンス

平成4年9月9日及び9月30日

出席学生数：81名（80％）

附属図書館発行物

CD-ROM 版文献検索入門

MEDLINE 編（平成4年10月）

医学中央雑誌編（平成4年12月）

さざなみ（No33）（平成5年1月）

視聴覚資料目録（平成5年2月）

図書館利用案内 1993/1994（平成5年3月）

附属図書館統計

平成4年度 受入冊数	図 書 製本雑誌 合 計	1,323冊 2,191冊 3,514冊
平成4年度 受入雑誌数	和 雑 誌 洋 雑 誌 合 計	497種 498種 995種
平成4年度 館外貸出	学 生 教 職 員 合 計	4,739人 8,192冊 3,330人 7,655冊 8,069人 15,847冊
平成4年度 相互貸借	受 付 依 頼 合 計	2,261件 (27件) 1,753件 (11件) 4,014件 (38件) ()現物貸借数で内数
平成4年度 文献検索利用者数		3,488件
所 蔵 冊 数	図 書 製本雑誌 合 計	54,011冊 48,772冊 102,783冊

附属図書館委員会

第59回附属図書館委員会（平成4年4月20日）

完全週休二日制の実施と同時に土曜開館の実施を決定

第60回附属図書館委員会（平成4年5月20日）

将来構想について検討

第61回附属図書館委員会（平成4年10月30日）

平成4年度資料購入計画の決定

第62回附属図書館委員会（平成5年2月23日）

平成6年度概算要求に係わる方針決定

図書館関係会議

平成4年度第1回日本医学図書館協会評議員会

平成4年4月14日（慶應義塾大学）

平成4年度近畿地区国立大学図書館協議会

平成4年4月28日（京都大学附属図書館）

第54回近畿地区医学図書館協議会例会

平成4年5月12日（神戸大学）

平成4年度国立大学附属図書館事務部課長会議

平成4年5月25日（東京医科歯科大学）

平成4年度第2回日本医学図書館協会評議員会

平成4年5月28日（九州厚生年金会館）

第63回日本医学図書館協会総会

平成4年5月28日～29日（九州厚生年金会館）

平成4年度第3回日本医学図書館協会評議員会

平成4年5月29日（九州厚生年金会館）

第61回近畿地区国公立大学図書館協議会総会

平成4年6月16日（京都大学附属図書館）

第17回国立医科大学図書館会議

平成4年6月24日（帯広東急イン）

第39回国立大学図書館協議会総会

平成4年6月25日～26日（帯広市民文化ホール）

大学図書館自己評価基準検討委員会

平成4年9月25日（大阪大学附属図書館）

平成4年度第4回日本医学図書館協会評議員会

平成4年10月5日（東京大学医学図書館）

大学図書館自己評価基準検討委員会ワーキンググループ打合せ会

（第1回）平成4年10月26日（大阪大学附属図書館生命科学分館）

（第2回）平成4年11月27日（大阪大学附属図書館）

(第3回) 平成5年1月21日(大阪大学附属図書館)

第2回大学図書館自己評価基準検討委員会

平成5年2月10日(大阪大学附属図書館)

第55回近畿地区医学図書館協会例会

平成5年2月22日(兵庫医科大学)

地域ネットワーク関係

近畿北部地区国立大学図書館端末校システム検討会(第16回)

平成4年5月15日(京都教育大学附属図書館)

近畿北部地区機械化連絡会議ネットワークシステム小委員会拡大会議

平成4年7月7日(京都大学附属図書館)

近畿北部地区国立大学図書館端末校システム検討会(第17回)

平成4年7月24日(奈良教育大学附属図書館)

近畿北部地区国立大学図書館端末校システム検討会(第18回)

平成4年9月25日(滋賀大学教育学部)

近畿北部地区機械化連絡会議ネットワークシステム小委員会拡大会議

平成4年12月15日(京都大学附属図書館)

近畿北部地区国立大学図書館端末校システム検討会(第19回)

平成5年1月29日(京都工芸繊維大学附属図書館)

近畿北部地区機械化連絡会議ネットワークシステム小委員会拡大会議

平成5年2月2日(京都大学附属図書館)

研修関係[参加者]

平成4年度国立学校等幹部職員研修(課長級)

平成4年5月11日～14日(国立オリンピック記念青少年総合センター)[由良]

文献検索システム研修会

平成4年5月12日、5月18日及び6月10日(日本科学技術情報センター大阪支所)[菅]

平成4年度第4回ILLシステム講習会

平成4年7月9日～10日(学術情報センター)[成宮]

平成4年度目録システム講習会[地域講習会]

平成4年9月28日～10月2日(京都大学附属

図書館)[谷垣]

日本医学図書館協会「医学図書館員の教育」シンポジウム

平成4年10月2日(大阪大学附属図書館生命科学分館)[由良]

日米ワンデイセミナー・第13回大学図書館研究集会

平成4年10月12日(京都外国語大学)[由良・谷垣・菅]

学術情報センターシンポジウム

平成4年10月13日(京都大学薬学部)[生田・由良]

平成4年度(第4回)職員研修

平成4年10月18日～20日(本学・希望ヶ丘青年の城)[坂本]

平成4年度近畿地区国立学校等会計事務研修

平成4年10月19日～23日(関西地区大学セミナーハウス)[杉本]

平成4年度近畿地区国公立大学図書館協議会図書館施設に関する研究集会

平成4年11月17日(国際日本文化センター図書館)[由良]

平成4年度近畿地区国立学校等係長研修

平成4年11月24日～27日(関西地区大学セミナーハウス)[沼澤]

平成4年度近畿地区国公立大学図書館協議会主題別研究集会

平成4年12月18日(京都大学附属図書館)[平元]

平成4年度近畿地区国公立大学図書館協議会講演会

平成5年2月24日(京都大学附属図書館)[沼澤・菅]

平成4年度第2回近畿地区国公立大学図書館協議会主題別研究集会

平成5年2月16日(大阪大学附属図書館生命科学分館)[成宮]

附属図書館設備

身体障害者用トイレ設置

(平成5年1月)

CD-ROM 館内 LAN システム設置

(平成5年2月)

本学関係者寄贈図書

大久保岩男（生化学第二講座・教授）

組織化学：初学者のための基礎と実際

南江堂 1987

岡田慶夫（学長）

湖国と医人たち

金芳堂 1993

小澤和恵（附属病院長）

Liver surgery approached through the mitochondria

Medical Tribune 1992

Towards the aggressive surgery of liver cancer based on the redox theory

癌と化学療法社 1992

高橋三郎（精神医学講座・教授）

616のプログラム教程：精神疾患へのアプローチ 第3版

医学書院 1993

精神科診断基準（精神科 Mook 28）

金原出版 1992

横田敏勝（生理学第一講座・教授）

脳と痛み：痛みの神経生理学

共立出版 1993

渡邊昌平（滋賀医科大学名誉教授）

誤診されやすい皮膚真菌症

金原出版 1992

御恵贈、ありがとうございます。図書館の蔵書として広く利用に供させていただきます。

所蔵冊数が10万冊に

滋賀医科大学附属図書館は、平成5年1月22日に10万冊目の資料を備品登録しました。

10万冊目は、製本雑誌受入の「眼科」33巻（1－4）、1991年です。

登録番号1番は、「日本と東京（日本地誌ゼミナール 1）」（昭和43年、大明堂）という本で、開学から7ヵ月後の昭和50年5月2日に登録されました。図書原簿をみると、初代学長の脇坂先生が図書館長（事務取扱）になっておられました。

それから約18年で10万冊を越えたわけですが、20万冊目を登録するときは21世紀を迎えているかもしれません。（谷）

「さざなみ」No.33の寄贈図書の書名に誤りがありました。

高橋三郎教授から御恵贈頂いた図書のうち「DSM-III-R ケースブック面接法」は「DSM-III-R 面接法」でした。慎んで訂正いたします。

滋賀医科大学附属図書館報「さざなみ」 No.34

1993年7月発行

発行人 由良信道

編集委員 森下誠一・小川晋平・菅 修一

発行 滋賀医科大学附属図書館 〒520-21 大津市瀬田月輪町

TEL.0775-48-2080 FAX.0775-43-9236